

天塩川が育む自然に抱かれた、ゆつたり時間で暮らす



Photo: 中川町の誉大橋から望む天塩川の夕暮れ



北海道 美深町・音威子府村・中川町

チョウザメが養殖され、高層湿原がある自然 が深いまち

美深町

びふかちょう

【人口】5,178人 【世帯】2,194世帯 (平成22年国勢調査)



国内最北の山岳地にある 高層湿原「松山湿原」

美深町は上川地方の北部に位置する町で、町名はアイヌ語の「ピウカ（石の多い場所）」に由来します。

町の面積の多くは森林で、西は天塩山地、東は北見山地に囲まれています。そのため、内陸性の気候で、寒暖の差が激しく国内の最低気温となる-41.5℃の記録があります。

基幹産業は農業、酪農、林業。稲作の北限地であり、チョウザメが養殖されています。

町の西部には「仁宇布（にうぶ）」地区という移住者が多く住み、村上春樹氏の「羊を巡る冒険」の舞台ともされるエリアがあります。その奥には国内最北の高層湿原である、標高797mの「松山湿原」があります。冬期の強い風と積雪に耐えて育つ自然の幻想的かつ神秘的な景観が広がっています。

文化会館「COM100」

町の中心部には生涯学習の拠点として「COM100」があり、458人を収容できる大ホールではコンサートや文化サークルの発表会など様々な催しが行われています。図書室や郷土資料館も併設され、各種サークル活動、会議等も行える部屋もあり町民以外の方にも気軽に幅広く利用されています。



豊かな農産物

美深町では広大な農地で、稲作・畑作・酪農・畜産が広く行われています。寒冷な気候により低農薬・低化学肥料栽培が可能で、加えて大きな寒暖の差により野菜本来の味と甘みが特長です。水稻は日本の北限となり全てもち米です。

VOICE! ~移住者の声~

野菜のおいしさに 驚きました

栗田富太郎さん

愛知県出身、66歳で退職し
美深町へご夫婦で移住。



生まれも育ちも愛知県。退職後移住を考え、「移住体験ツアー」に参加したことがきっかけで移住しました。驚いたことは、野菜のおいしさ。甘さや味の濃さにはびっくりしました。冬の寒さは町営アパートが快適なのでさほど気になりません。210坪の家庭菜園で汗を流して美味しい野菜を堪能しています。

自分らしく自由に のびのび暮らしています

辻亮多さん

弟子屈町出身、30歳。カヌーの拠点
フィールドとして美深町へ家族で移住。



天塩川をはじめ、美しい自然に恵まれたこの地で、アウトドアガイドの仕事を始めようと、家族三人で美深町に移り住んで来ました。地元の方々は、新しくやってきた私たちに興味を持ってくださり、私たちの暮らしを暖かく見守ってくれています。豊かな自然と、おらかな町の人に囲まれて、自分らしく自由にのびのびと暮らしています。

【ちょっと暮らし住宅】

美深町には移住を希望する方向けに、短期用と中期用の2種類が用意されています。

郊外の農村部に位置する一戸建て住宅と、街中の利便性の高い2階建ての一戸建て住宅があります。

まち中の利便性が高い家族向け住宅

短期体験住宅

美深町東3条南3丁目

6LDK



■JR美深駅より徒歩3分

■利用:7日~30日

■利用料:15,000円~30,000円(利用日数による)

■ガス、上下水道、灯油などは実費

■インターネット環境:無し

大自然を独り占め!

リフォーム済みのキレイな物件

中期体験住宅

美深町字報徳81-2

1LDK

■JR美深駅より車で約30分

■利用:31日~90日

■利用料:40,000円~70,000円(利用日数による)

■ガス、上下水道、灯油などは実費

■インターネット環境:無し



木工芸アートを育む、森と匠の村 音威子府村

おといねっぷむら

【人口】995人 【世帯】486世帯 (平成22年国勢調査)



北海道命名の地がある村

音威子府村は2013年現在、北海道内で最も人口の少ない自治体です。地名の由来はアイヌ語の「オ・トイネ・ブ（河口・土で汚れている・もの）」に由来し、音威子府川が天塩川に合流する地点の様子によります。

1857年、冒險家・松浦武四郎がこの地を訪れ、アイヌの長老から聞いた話に基づき「北海道」と命名、その命名の碑が村を流れる天塩川流域にあります。かつては交通の要地として、日本海とオホーツク海、そして上川中央部を結ぶ鉄道の町として発展してきました。現在では、「森と匠の村」をスローガンに、豊富な森林資源を活かした工芸による村おこしを展開。北海道で唯一の全日制工芸科高校である北海道おといねっぷ美術工芸高等学校があり、全国から高校生が集まって作品づくりを通して学んでいます。



木遊館

木工加工の設備が整った誰でも利用できる木工体験施設。簡単な小物から技術を要する家具類など、材料費のみで施設を利用、作品を作ることができます。指導してくれるスタッフもいるので気軽に木工作品に取り組めます。



クロスカントリースキー

今や「村技」とも言えるクロスカントリースキー。毎年12月には全日本の大会が開催され、850人の村に600名を超える選手が合宿で訪れます。全日本スキー連盟公認及び国際スキー連盟公認のコースが整備され、どなたでも気軽にクロスカントリースキーを体験することができます。

VOICE! ~移住者の声~

田舎はやろうと思えば
何でもできる

平田武夫さん
ご家族

大阪市から移住、
気がつけば10年が経過。

音威子府村を知ったきっかけは2人
の共通の趣味であるクロスカントリースキー。コースを楽しむために
訪れ、この風景に惹かれました。「田舎はコミュニティが小さいので自
分がやろうと思えば、何でもできる」と、映画の鑑賞会やコンサートな
どを実施。太極拳も、居合も移住してから始めて、楽しんでいます。



音威子府の良い所は
なんといっても大自然

森川亮輔さん、醇子さん
ご夫妻

東京都出身の彫刻家



平成12年に音威子府へ移住して12年。

ここでの良い所はなんといっても大自然。私は彫刻家なので、作品を制作するのに音威子府の起伏のある地形は最高です。広い土地が安く手に入り、とても東京では考えられません。自分は、人と話すのが苦手ですが、作品に魂を込めて広く住民と対話していきたいと思っています。

【ちょっと暮らし住宅】

音威子府村には移住を希望する方向けに、立地が異なる2種類の住宅が用意されています。
どちらもリフォーム済み。快適な村民ライフを送ることができます。

リフォーム済み、スキーリゾートへ徒歩で可能

ちょっと暮らし住宅A

音威子府村字音威子府191番地3

2LDK



■JR音威子府駅より徒歩15分

■利用:7日～3ヶ月

■利用料:13,000円～25,000円/月(電気料込み)

■ガス、上下水道、灯油などは実費

■インターネット環境:有り(事前申込必要)

なんと駅前立地、
5部屋+屋内作業場があります

ちょっと暮らし住宅B

音威子府村字音威子府338番地

3LDK

■JR音威子府駅より徒歩1分

■利用:7日～3ヶ月

■利用料:15,000円～30,000円/月(電気料込み)

■ガス、上下水道、灯油などは実費

■インターネット環境:有り(事前申込必要)



クビナガリュウやアンモナイトが発掘される化石のまち

中川町

なかがわちょう

【人口】1,906人 【世帯】926世帯 (平成22年国勢調査)

ココが中川町だよ!



まち全体が自然ミュージアム

中川町は3町村の中で最も北に位置する町。明治期よりアンモナイトの化石が発掘され「化石の里」として知られています。東西を山に囲まれた地形で、町内を流れる天塩川に沿って集落が存在しています。基幹産業は酪農と林業。

中川町は国内最大級のクビナガリュウの化石が発見された場所として知られており、閉校した佐久中学校を利用し、宿泊施設を併設した自然誌博物館、中川町エコミュージアムセンター「エコールなかがわ」で展示されています。

また、切り出された丸太を使って、両方向から押し合う「丸太押し相撲」の発祥地で、収穫の秋・9月に開催される「秋味まつり」では100kgの丸太を使った丸太押し相撲大会が盛大に開かれます。



カヌー

北海道第2位の長さを誇る天塩川は堰のない川として日本一長く、カヌー愛好家のあこがれの川。オートキャンプ場「ナボートパーク」内のカヌーポートをベースに、ロングツーリングも楽しめます。



釣り

中川町は釣りのメッカ。天塩川はもちろん、その支流にはヤマメやウグイの魚影が濃い場所がいたるところにあります。幻の魚・イトウも潜んでいます。

VOICE! ~移住者の声~

晴耕雨読の生活を 楽しんでいます

佐竹敏章さん

千葉県市川市から移住。妻を残し、
単身きままライフを堪能中

東京でサラリーマン生活の後、移住者フェアで知り、「おためし住宅」の利用を経て移住しました。最初の冬は雪の多さにびっくり。今は近所の方が重機で除雪してくれます。静かな環境の中、読書と陶芸にいそしみ、文字通り晴耕雨読の生活を楽しんでいます。



移住体験しながら ボランティアをしています

中本太一さん

平成24年9月に岡山市から来町、
現在移住体験中。「なかがわ塾」の
ボランティア講師として活躍しています



岡山県の大学を退職後、ボランティア活動ができるところを探していたところ、ちょうど中川町内の中学生を対象にボランティアで塾を開いていることを聞き、移住体験を申し込みました。現在は週3回地元の中学生に英語と数学の講師をしています。

【ちょっと暮らし住宅】 中川町には移住を希望する方向けに、2つの住宅が用意されています。

ともに教員住宅だったものを利用。木々に囲まれた静寂な場所にあります。

山の中の静かな環境、この環境を気に入り移り住んだ移住者もいます

移住体験住宅3号棟

中川町字安川28-2

2LDK



■JR佐久駅より徒歩15分

■利用:概ね3ヶ月まで

■利用料:10,000円/月

■下水光熱費は実費

■インターネット環境:近隣のエコミュージアムセンター(徒歩1分)で有機LANを開放

移住体験住宅4号棟

中川町字安川28-2

3LDK



■JR佐久駅より徒歩15分

■利用:概ね3ヶ月まで

■利用料:10,000円/月

■下水光熱費は実費

■インターネット環境:近隣のエコミュージアムセンター(徒歩1分)で有機LANを開放

移住者の方々の声

星や草花の色が濃くあざやかには驚いた。
野菜類のおいしさにはびっくりするが、特に
「雪中キャベツ」の甘さには驚いた。
最初は、料理した際、調味料を入れまちがったのかと思ったくらい甘かった。
(Iさん)



スキー場が歩いて行ける
（Aさん）
距離にある。
ウインタースポーツを極々みじかで体験できるところが多い。

冬がやはりすばらしい、真っ白の雪原の中、
スキーで歩ける自然環境は何ごとも替えががたい感動がある。
村にある木工体験施設は、まさに唯一無二のすばらしい施設。
日本でどこにもない体験ができます。 (Hさん)

特に冬のこと

冬は大変でしょうとよく言われるが、
「ゆきなげ」は実は楽しい。
さすがに3月のベタ雪の時はいやになるが、
よい運動になっていると思う。 (Nさん)

夏の生活は良いが、冬については地元の人から
厳しさばかりと言われた。しかし、冬も家中はもちろん、
外も風がさほど強くない分意外にすごしやすかった。
その雪も、パウダースノーだけあって、除雪というより
雪を払うだけですむほど。 (Iさん)

除雪が好き。
汗をかいて室内に戻って暖房の効いた室内で
ぼかぼか昼寝することは気持ちがよく至福の時。
(Hさん)

湿度が低い夏場は本当に快適。
冬は厳しいが、こちらあたりは風があまり吹かないの
吹雪などで困ったことはなかった。 (Iさん)

星空がとてもきれい、
夜空が広いことに驚く。
幹線道路わきで牛や羊が放牧されている。
その牛たちが自ら道路を横切り、
川を渡って牧草地に行くところを見て驚いた。
ヨーロッパの田舎の風景
のような景色が広がる。 (Tさん)

夕焼け時の天塩川の風景が好き。
(Wさん)

カヌーがすぐにできる。
すぐ釣りができる。
すぐスキーができる。
(Tさん)

カヌーや散歩をするととも気持ちがいい。
(Nさん)

天塩川はニジマスの80センチ級が釣れる、日本でも数少ないポイントの一つ。

季節ごとに変化する夜の虫の声やカエルの鳴き声など自然が近いところが驚いた。
邪魔するものがなにもない、満点の星空には感動。 (Sさん)



イベントごと意外にも多い。人が優しい。
こわれた自転車を知らないうちに近所の方が直してくれていたり、
外で「痛い」と大声で叫んだら、近くにいるおばさんが
「大丈夫かい?」と声をかけてくれた、
空気がきれい。体調が良くなれた。
(Nさん)

まちや人づきあいのこと

人情が豊かなところ、
台風、地震、洪水といった自然災害が
ほとんどないところなので安心して
住むことができる。 (Aさん)

陶芸サークルに入って
毎週ワイワイと楽しんでいます。
(Sさん)

(Nさん)

親切

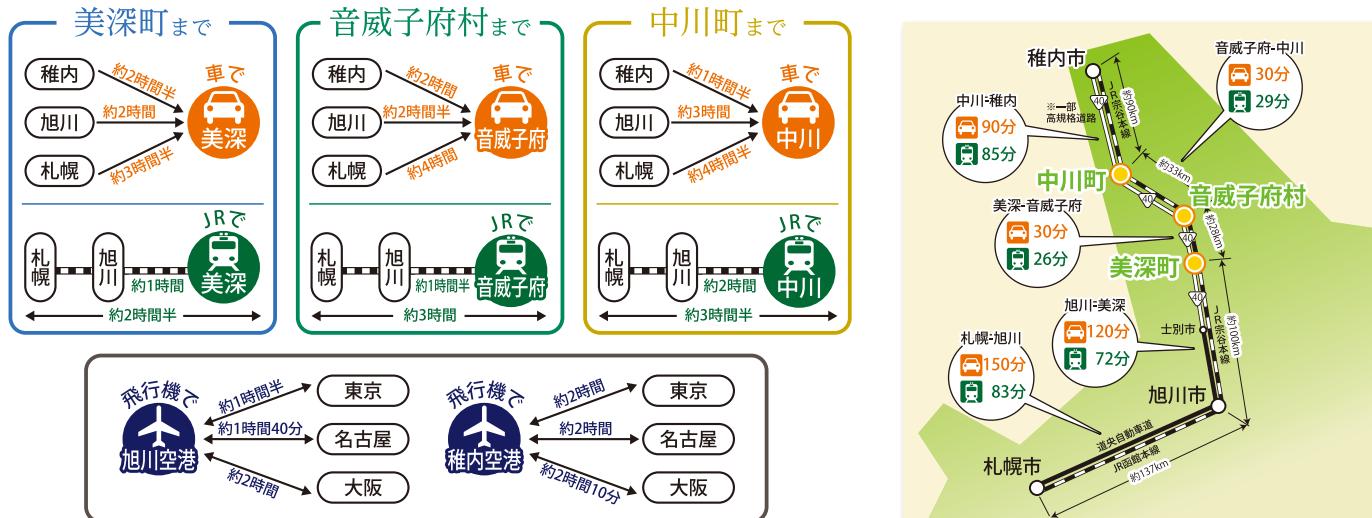
村民の方々が驚くほど親切。
外で仕事をしていると、おかしや
お弁当などを差し入れしてくれる。
あまりにもご飯を食べさせてくださる方が
たくさんいることにビックリした。
自分達のことを心配や気にかけてくれる
村民が多くて驚いた。 (Mさん)

年配の方々との交流が普通にある。
地元に伝わる古くからの料理を通じて、
コミュニケーションがとれることは、
都会ではなかったこと。 (Oさん)



[交通のご案内]

国道40号線が旭川と稚内をむすび、JRは各まちに特急が停車します。高速道路は、美深IC～美深北ICが開通し一層便利に！



[暮らし歳時記・お祭りのご案内]

月	歳時記	お祭り・イベント
4月	・市街地の雪が消え春が訪れる、夏タイヤへ交換 ・山はまだまだ「雪」がいっぱい！かたくしまった雪原を歩くには最高の時。 ・白樺やイタヤカエデの樹液を飲んで楽しめます	・美深白樺樹液春祭り(美深) ・トロッコ王国オープン(美深)
5月	・コブシやスモモの花が咲き、サクラが開花 ・田植えが始まり(もち米)、タラの芽など山菜のシーズン	・望の森さくらまつり(美深)
6月	・半袖に衣替え、観光スポットに続々と人が訪れる ・外で牛の放牧が始まると、牧草(一番草)の刈取りにより牧草ロールがあちこちに ・新緑がまぶしい。カッコーが鳴き家庭菜園開始。タケノコ採りの時期、ヤマベ釣り解禁	・松山湿原登山の集い(美深)・植樹祭(美深) ・道北中学校野球大会(音威子府) ・短歌フェスティバル作品募集(中川)
7月	・カヌーなど水辺のレジャーが快適 ・各地でイベントが多くなり、ビールがおいしい ・夜、外ではカエルの鳴き声がどこからともなく聞こえます	・美深ふるさと夏まつり(美深)・ひふか夜市(美深) ・ダウソ・ザ・テッセ・オーペッ(カヌーツーリングイベント) ・村民運動会、八幡神社祭・体協主催ビールパーティー(音威子府) ・天塩川de水切り大会(中川)
8月	・30℃を越える日が続くが、夜の寝苦しさはないのでエアコンいらず ・小麦の収穫シーズン、そば畠の風景は最高。 ・暑いのもお盆まで。お盆を過ぎると少しづつ秋めいてきます	・町民運動会(美深)・美深ふるさと盆踊り(美深) ・ふるさと祭、納涼祭り(音威子府) ・中川まつり(中川)
9月	・ストーブをそろそろ使いはじめる ・稻刈リシーズン、いも・かぼちゃも収穫シーズン ・山が色づき露天風呂から眺める天塩川がとてもきれいに	・美深ふるさと秋まつり(美深) ・函岳ウォーキングの集い(美深) ・秋祭り(中川)・丸太押し相撲大会(中川)
10月	・紅葉のシーズン、熊出没注意 ・ストーブがフル稼働、初雪が降る	・町民マラソン大会(美深)
11月	・冬に備えて車のタイヤ交換・冬廻いなど	・文化祭(美深) ・文化祭(音威子府)
12月	・冬本番を迎え、すでにマイナス20℃を超える日も ・雪が舞い、吹雪も多く、積雪が進みます	・全日本学生チャンピオンスキーワールドカップ(音威子府) ・全日本クロスカントリー音威子府大会(音威子府)
1月	・雪が降り続く時期、ウィンタースポーツ真っ盛り ・白菜やニシンの漬物が美味しい時期	・ミニバレーボール大会(美深町)
2月	・最高に冷え込む時期、マイナス20℃なんて毎日！吹雪も頻繁。 JRのラッセル車の運行も多くなり、時には-30度を超えることも ・天塩川も完全に結氷します	・ひふかワインターフェスタ(美深)・なかがわ雪あかり(中川) ・天塩川春發信inなかがわ(天塩川の解氷日時をあてるイベント) 募集開始(中川)
3月	・春を感じながらも積雪2m以上に愕然とする日々 ・雪解けが進み、下旬には天塩川も解氷します	・全日本・全道エアリアル大会(美深) ・全日本雪上サッカー大会(音威子府) ・音威富士大回転競技大会・音威子府Jrクロカン大会(音威子府)



きたいつしょ推進協議会

美深町役場総務課企画グループ
音威子府村役場総務課地域振興室
中川町役場総務課企画財政室

ホームページ <http://kitaissho.jp/>

TEL.01656-2-1617
TEL.01656-5-3311
TEL.01656-7-2811